

平成貳拾漆(27)年度

LIMICOLINE

NAKAGAWA UNGA ART PROJECT

中川運河水辺生息藝術計画

リミコライン・アートプロジェクト

光畫展

「中川運河物語～昭和の俤を辿って」

光畫師・尾洲齋寫祿＝加美香樹

昭和の旧き良き時代の雰囲気溢れる中で、
昭和に流行りし懐かしの歌謡曲に耳を傾け、
昭和の味覚の馥郁たる淹れたて珈琲を啜りつつ、
昭和の氣分を満喫しながら作品を御鑑賞戴きます。

昭和の残影が今も尚色濃く残る中川運河への、
時空を超えた夢現の旅を暫し御愉しみ下さい。

主 催： 中川運河リミコライン・アートプロジェクト / 2015 年度中川運河助成 ARToC10 助成採択事業
協 力： 中川運河デザインラボ / 長者町トランジットビル / スリパチ学会
企画・運営： N-mark

この事業は、中川運河「にぎわいゾーン」の魅力向上につながる現代アートへの助成を行う名古屋都市センター「中川運河助成 ARToC10」から採択されたものです。この助成事業は、「中川運河再生計画」(名古屋市・名古屋港管理組合策定)の趣旨に賛同されたリナイ株式会社の寄附を活用しています。

ART Go
中川運河助成

中川運河物語～昭和の俤を辿って

光畫師・尾洲齋寫祿＝加美秀樹

11月12日(木) - 15日(日)
20日(金) - 23日(月祝)
27日(金) - 29日(日)

時 間：13:00 ～ 18:00

会 場：中川運河藝術及調査研究所（中川運河アート＆リサーチ・ラボ）

LIMICOLINE

NAKAGAWA UNGA ART PROJECT

中川運河水辺生息藝術計画
リミコライン・アートプロジェクト

かつては、名古屋地域における中心的な水上輸送路として大活躍した中川運河。現在では、道路網の充実や貨物の変化によって、その利用はピーク時の約2%に減少してしまいました。一線を退いた中川運河ですが、その静かな佇まいに魅せられた人々がまだまだたくさんいることも確か。昨年度のプログラムでは、中川運河の畔に立つ秘密基地（森石油ビル）を「中川運河アート＆リサーチラボ」とし私たちの活動拠点とさせていただきます。この拠点では、中川運河の魅力に魅せられた、みなさんと共にさらなる運河の魅力を発見・共有した経験を蓄積していく拠点として活用させていただきます。本年度はアーティストが絵を描くためのアトリエとして活用したり、中川運河をイメージするコーヒープレンドを制作してみたり、中川運河の周辺をフィールドワークしたり、アーティストと共に、運河に浮かべるカヌーを制作したり、今年の5月から毎週土曜日に定期的に、場所をオープンし、インターネットや口コミで広がってたくさんの人たちに参加していただきました。今年度の最後となる本プロジェクトでは幾つかのプログラムが同時に開催されます。中川運河の魅力に少しでも触れていただき、少しでも運河に興味を持っていただければ幸いです。

写真展 - 中川運河物語 - 昭和の俤を辿って 加美秀樹開催スケジュール

11月12(木)					
13(金)					
14(土)	フィールドワーク「中川運河の昭和を見てみよう!!」				
15(日)					
20(金)					
21(土)	アーティストトーク「中川運河の昭和を感じてみよう!!」 カヌー進水式 運河に浮かべる電話カヌー 安原弘高 移動ラジオ局? (仮) 山田亘 ナゴヤビクニッククラブ	ドキュメント展1 フィールドワーク 「中川運河のクロスフィールド」 名古屋スリパチ学会	服部ビル - オープンビルディング - 絵画展示作品 安原弘高	スタートアップフリーマーケット スタンドコーヒESHOP	写真展 中川運河物語 加美秀樹
22(日)					
23(月・祝日)					
27(金)					
28(土)	トークセッション「中川運河の昭和を語り合おう!!」	ドキュメント展2 ポエトリーフィールドワーク 「中川運河の詩からII」 村田仁(詩人)			
29(日)					

中川運河アート＆リサーチラボ

ここは期間限定のアートセンターです。会期中ここに集まってくるみんなで徐々に整備していきます。アートに限らず中川運河のいろいろな情報が集まる場所をめざして、集まってくれたみんなで協力しながら運営していきます。

※駐車場はありません。

- 名鉄山王駅(名鉄名古屋本線)
徒歩約6分(約400m)
- 尾頭橋駅(JR東海道線)
徒歩約15分(約1.1km)
- 日置橋(市バス 栄22、名鉄19系統)
徒歩約7分(約500m)

